

学校コード F142110111189

注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

意見伺い

注2
長崎大学大学院 多文化社会学研究科 多文化社会学専攻（博士後期課程）

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 長崎大学
令和4年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	
職名・氏名	政策企画部政策企画課政策企画班 主査（企画）・美濃 若菜 人文社会科学域事務部北地区事務課 総務第一係係長・荒木 隆
電話番号	095-819-2014
（夜間）	095-819-2014
e-mail	soshikai@ml.nagasaki-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

多文化社会学研究科

<多文化社会学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 長崎大学

(2) 大学名

長崎大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒852-8521
長崎県長崎市文教町1番14号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(コウノ シゲル) 河野 茂 (平成29年10月)	—	
研究科長	(タキザワ カツヒコ) 滝澤 克彦 (令和2年4月)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履状状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
多文化社会学研究科 多文化社会学専攻 博士(学術)	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係	3 年	3 人	- 年次 人	9 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度						平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	3 (-) [-]	1 (-) [-]	3 (-) [-]	1 (-) [-]	3 (-) [-]	1 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.11 倍	-	
志願者数	12 (-) [6]	7 (-) [-]	7 (-) [3]	1 (-) [-]	8 (-) [3]	1 (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
受験者数	12 (-) [6]	5 (-) [-]	5 (-) [2]	1 (-) [-]	8 (-) [3]	1 (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
合格者数	5 (-) [2]	3 (-) [-]	3 (-) [2]	1 (-) [-]	3 (-) [2]	1 (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	4 (-) [1]	3 (-) [-]	3 (-) [2]	1 (-) [-]	3 (-) [2]	1 (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.33		1.00		1.00								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度						備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	4 [1] (-)	- [-] (-)	3 [2] (-)	- [-] (-)	3 [2] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		4 [1] (-)	- [-] (-)	3 [2] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		/		4 [1] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/						/		[] ()	[] ()	[] ()
計			4 [1] (-)		7 [3] (-)				10 [5] (-)		[] ()

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	4人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	7人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	10人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<多文化社会学研究科 多文化社会学専攻（博士後期課程）

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
講義科目	多文化社会学特論 I	1①	2			6	2					
	多文化社会学特論 II	1②	2			2	3					
	小計(2科目)	-	4	0	0	8	5	0	0	0		
演習科目	研究演習 I	1通	4			16	19					
	研究演習 II	2通	4			16	19					
	小計(2科目)	-	8	0	0	16	19	0	0	0	0	
研究指導科目	研究指導	3通	4			16	19					
	小計(1科目)	-	4	0	0	16	19	0	0	0	0	
合計(5科目)			-	16	0	0	16	19	0	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
3年以上在学し、16単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
講義科目	多文化社会学特論 I	1①	2			6	0					2
	多文化社会学特論 II	1②	2			2	1					2
	小計(2科目)	-	4	0	0	8	1	0	0	0		4
演習科目	研究演習 I	1通	4			16	14					
	研究演習 II	2通	4			16	14					
	小計(2科目)	-	8	0	0	16	14	0	0	0	0	
研究指導科目	研究指導	3通	4			16	14					
	小計(1科目)	-	4	0	0	16	14	0	0	0	0	
合計(5科目)			-	16	0	0	16	14	0	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
3年以上在学し、16単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
講義科目	多文化社会学特論Ⅰ	1③	2			7	0					1
	多文化社会学特論Ⅱ	1③	2			2	3					
	小計(2科目)	-	4	0	0	9	3	0	0	0	0	1
演習科目	研究演習Ⅰ	1通	4			17	16					
	研究演習Ⅱ	2通	4			17	16					
	小計(2科目)	-	8	0	0	17	16	0	0	0	0	0
研究指導科目	研究指導	3通	4			17	16					
	小計(1科目)	-	4	0	0	17	14	0	0	0	0	0
合計(5科目)			-	16	0	0	17	14	0	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
3年以上在学し、16単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。												

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
講義科目	多文化社会学特論Ⅰ	1①	2			6	0					2
	多文化社会学特論Ⅱ	1②	2			2	1					2
	小計(2科目)	-	4	0	0	8	1	0	0	0	0	4
演習科目	研究演習Ⅰ	1通	4			16	14					
	研究演習Ⅱ	2通	4			16	14					
	小計(2科目)	-	8	0	0	16	14	0	0	0	0	0
研究指導科目	研究指導	3通	4			16	14					
	小計(1科目)	-	4	0	0	16	14	0	0	0	0	0
合計(5科目)			-	16	0	0	16	14	0	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
3年以上在学し、16単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・専任教員の辞職及び昇任のため、「多文化社会学特論Ⅰ」の専任教員の配置を、「教授6」から「教授7」、「准教授2」から「准教授0」、「兼任教員0」から「兼任教員1」に変更（専任教員の後任については、現在公募準備中）。また、教育効果向上のため、配当年次を「1①」から「1③」に変更。
- ・専任教員の辞職及び昇任のため、「研究演習Ⅰ」、「研究演習Ⅱ」及び「研究指導」の専任教員の配置を、「教授16」から「教授18」、「准教授19」から「准教授16」に変更（専任教員の後任については、現在公募準備中）

【令和3年度】

- ・専任教員の辞職及び昇任のため、「多文化社会学特論Ⅰ」の専任教員の配置を「教授7」から「教授6」に、「兼任教員01」から「兼任教員2」に変更（専任教員の後任については、現在公募中）。
- ・専任教員の辞職及び昇任のため、「多文化社会学特論Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授3」から「准教授1」に、「兼任教員0」から「兼任教員2」に変更（専任教員の後任については、現在公募中）。
- ・専任教員の辞職のため、「研究演習Ⅰ」、「研究演習Ⅱ」及び「研究指導」の専任教員の配置を「教授18」から「教授16」に、「准教授16」から「准教授14」に変更（専任教員の後任については、現在公募中）。

【令和4年度】

特になし。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	0 科目	0 科目	5 科目	5 科目 [-]	0 科目 [-]	0 科目 [-]	5 科目 [-]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{5} = \boxed{} 40\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 舎 敷 地	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	229 借用面積106㎡ 借用面積3,190㎡	
	校 舎 敷 地	270,399 ㎡ 272,093 ㎡ 270,806 ㎡ 274,716 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	270,399 ㎡ 272,093 ㎡ 270,806 ㎡ 274,716 ㎡		
	運 動 場 用 地	104,802 ㎡ 110,819 ㎡ 112,106 ㎡ 101,030 ㎡	0 ㎡ 12,748 ㎡	0 ㎡	104,802 ㎡ 110,819 ㎡ 112,106 ㎡ 101,030 ㎡		
	小 計	375,201 ㎡ 382,912 ㎡ 375,746 ㎡	0 ㎡ 12,748 ㎡	0 ㎡	375,201 ㎡ 382,912 ㎡ 375,746 ㎡		
	そ の 他	287,688 ㎡ 279,977 ㎡ 167,053 ㎡	0 ㎡ 107,538 ㎡	0 ㎡	287,688 ㎡ 279,977 ㎡ 167,053 ㎡		
	合 計	662,889 ㎡ 542,799 ㎡	0 ㎡ 120,286 ㎡	0 ㎡	662,889 ㎡ 663,085 ㎡		
(2) 校 舎	専 用	185,469 ㎡ 187,993 ㎡ 193,463 ㎡ 182,273 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	185,469 ㎡ 187,993 ㎡ 193,463 ㎡ 182,273 ㎡	総合研究棟（医歯薬学系）の改修、教育学部本館の組織変更に伴い、建物内の区分の変更があったため。（4） 被ばく医療総合研修センター等の改修や組織変更に伴い、建物内の区分の変更があったため。（3） 歯学部本館改修、工学部2号館改修、教育学部本館改修（情報データ科学部）に伴い建物内の区分の変更があったため。（2）	
	(193,463㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(193,463㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	109 室 110 室 114 室 100 室	演 習 室 226 室 223 室 220 室 243 室	実 験 実 習 室 534 室 482 室 499 室 487 室	情 報 処 理 学 習 施 設 20 室 25 室 26 室 (補助職員 3人)	語 学 学 習 施 設 5 室 6 室 (補助職員 1人)	大学全体 校舎改修や組織変更等に伴い、建物内の区分の変更があったため。（4） 校舎改修や組織変更等に伴い、建物内の区分の変更があったため。（3） 歯学部本館改修、工学部2号館改修、教育学部本館改修（情報データ科学部）に伴い建物内の区分の変更があったため。（2）
	新設学部等の名称	室 数					
(4) 専任教員研究室	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻	30 34 35				専任教員数に変更があったため(3) 専任教員数に変更があったため(2)	
	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 【図書、学術雑誌、視聴覚資料】 令和4年5月1日現在の数値に変更（4） 令和3年5月1日現在の数値に変更（3） 令和2年5月1日現在の数値に変更（2） 【機械・器具】 新規取得による増加（4） 新規取得による増加（3） 新規取得による増加（2）
新設学部等の名称	〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	点	点	点	
多文化社会学研究科 多文化社会学専攻	990,000 [289,000] 1,021,000 [294,000] 1,032,000 [298,000] 1,050,000 [305,000]	24,700 [7,300] 24,900 [7,300] 25,100 [7,400] 25,400 [7,500]	22,400 [21,000] 24,100 [22,600] 25,600 [24,000] 10,700 [9,800]	5,920 6,000 6,300 7,050	16,836 15,417 13,825 13,075	78	
計	(987,000 [289,000]) (1,015,000 [293,000]) (1,027,000 [297,000]) (1,036,000 [301,000])	(24,700 [7,300]) (24,900 [7,300]) (25,000 [7,400]) (25,100 [7,400])	(22,400 [21,000]) (21,600 [20,200]) (21,800 [20,600]) (12,900 [11,900])	(5,820) (5,780) (6,060) (6,780)	(16,836) (15,417) (13,825) (13,075)	(78)	
(6) 図 書 館	面 積	10,758 ㎡ 10,735 ㎡	閱 覧 座 席 数	1,359 1,307 1,316	収 納 可 能 冊 数	959,527 969,638 964,055	大学全体 令和3年5月1日現在の数値に変更（3） 令和2年5月1日現在の数値に変更（2）
	面 積	12,541 ㎡	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要	弓道場、テニスコート、ハンドボールコート、プール等			大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その地の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	長崎大学				学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
多文化社会学部 多文化社会学科	4	100	—	400	学士(多文化社会学)	1.01	1.03	—	平成26	長崎市文教町1-14	
教育学部 学校教育教員養成課程	4	180	—	780	学士(教育学)	1.00	1.00	—	平成10	長崎市文教町1-14	令和2年4月定員変更(△60)
経済学部 経済総合学科 昼間コース 夜間主コース	4 4	265 60	10 5	1,080 250	学士(経済学) 学士(経済学)	1.00 1.03	1.01 1.02	— —	平成9 平成9	長崎市片淵4-2-1 同上	
医学部 医学科	6	120	2年次 5	745	学士(医学)	1.00	1.00	令和4	昭和24	長崎市坂本1-12-4	令和4年度の医学部医学科の入学定員の増員(25)は当該年度限りの臨時増である。
保健学科	4	106	3年次 10	444	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	1.00	—	平成13	長崎市坂本1-7-1	
歯学部 歯学科	6	50	—	300	学士(歯学)	1.00	1.00	—	昭和54	長崎市坂本1-7-1	
薬学部 薬学科 薬科学科	6 4	40 40	— —	240 160	学士(薬学) 学士(薬科学)	1.00 1.02	1.03 1.03	— —	平成18 昭和61	長崎市文教町1-14 同上	
情報データ科学部 情報データ科学科	4	110	—	330	学士(情報データ科学)	1.02	1.02	令和2	令和2	長崎市文教町1-14	
工学部 工学科	4	330	—	1,370	学士(工学)	1.00	1.00	—	平成23	長崎市文教町1-14	令和2年4月定員変更(△50)
環境科学部 環境科学科	4	130	3年次 5	530	学士(環境科学)	1.02	1.01	—	平成9	長崎市文教町1-14	
水産学部 水産学科	4	110	—	440	学士(水産学)	1.08	1.03	—	昭和48	長崎市文教町1-14	
【研究科】 多文化社会学研究科 (博士前期課程) 多文化社会学専攻 (博士後期課程) 多文化社会学専攻	2 3	10 3	— —	20 9	修士(学術) 博士(学術)	1.00 1.00	1.00 1.11	— 令和2	平成30 令和2	長崎市文教町1-14 同上	
教育学研究科 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2	28	—	56	教職修士(専門職)	0.96	0.96	—	平成20	長崎市文教町1-14	
経済学研究科 (博士前期課程) 経済経営政策専攻 (博士後期課程) 経営意思決定専攻	2 3	15 3	— —	30 9	修士(経済学) 修士(経営学) 博士(経営学)	0.73 0.66	0.73 0.66	— —	平成7 平成16	長崎市片淵4-2-1 同上	
工学研究科 (博士前期課程) 総合工学専攻 (博士後期課程) 生産システム工学専攻 (博士課程) グリーンシステム創成 科学専攻	2 3 5	220 15 5	— — —	440 45 25	修士(工学) 博士(工学) 博士(工学)	1.01 0.53 1.00	0.96 0.86 0.60	— — —	平成23 平成23 平成23	長崎市文教町1-14 同上 同上	令和4年10月入学者数は未定のため含まない。 令和4年10月入学者数は未定のため含まない。

(人)	入学定員	編入学定員	収容定員
令和4年度	120	5	745
令和5年度	95	5	720
令和6年度	95	5	695
令和7年度	95	5	670
令和8年度	95	5	645
令和9年度	95	5	620

大学の名称	長崎大学					学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
水産・環境科学総合研究科 (博士前期課程)											
水産学専攻	2	35	—	70	修士(学術) 修士(水産学)	1.28	1.15	—	平成23	長崎市文教町1-14	令和4年10月入学人数は未定のため含まない。
環境科学専攻 (博士後期課程)	2	25	—	50	修士(学術) 修士(環境科学)	0.72	0.92	—	平成27	同上	令和4年10月入学人数は未定のため含まない。
環境海洋資源学専攻 (博士課程)	3	12	—	36	博士(学術) 博士(水産学) 博士(環境科学)	0.50	0.80	—	平成23	同上	令和4年10月入学人数は未定のため含まない。
海洋フィールド生命科学専攻	5	0	—	20	博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(海洋科学)	—	—	—	平成23	同上	令和4年度学生募集停止
医歯薬学総合研究科 (修士課程)											
保健学専攻	2	30	—	60	修士(看護学) 修士(理学療法学) 修士(作業療法学)	1.00	1.05	—	平成18	長崎市坂本1-7-1	
災害・被災く医療科学共同専攻 (博士課程)	2	10	—	20	修士(医科学) 修士(看護学)	0.30	0.65	—	平成28	長崎市坂本1-12-4	令和4年10月入学人数は未定のため含まない。
医療科学専攻	4	60	—	240	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.15	1.17	—	平成14	同上	令和4年10月入学人数は未定のため含まない。
新興感染症病態制御学系専攻	4	20	—	80	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.50	0.66	—	平成14	同上	令和4年10月入学人数は未定のため含まない。
放射線医療科学専攻	4	5	—	20	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.20	1.05	—	平成14	同上	令和4年10月入学人数は未定のため含まない。
先進予防医学共同専攻 (博士前期課程)	4	10	—	40	博士(医学)	0.40	1.00	—	平成28	同上	令和4年10月入学人数は未定のため含まない。
生命薬科学専攻 (博士後期課程)	2	36	—	72	修士(薬科学)	0.88	0.91	—	平成22	長崎市文教町1-14	令和4年10月入学人数は未定のため含まない。
生命薬科学専攻	3	10	—	30	博士(学術) 博士(薬科学)	0.40	0.76	—	平成24	同上	令和4年10月入学人数は未定のため含まない。
熱帯医学・グローバルヘルス研究科 (博士前期課程)											
グローバルヘルス専攻 (博士後期課程)	2	37	—	62	修士(熱帯医学) 修士(公衆衛生学) 修士(医科学)	1.02	0.98	—	平成27	長崎市坂本1-12-4	秋季入学制のため、「平均入学定員超過率」は令和2年度と令和3年度の平均値。「令和4年度入学定員超過率」には、令和3年度の定員超過率を記載。
グローバルヘルス専攻	3	5	—	15	博士(グローバルヘルス)	1.20	1.00	—	平成30	同上	秋季入学制のため、「平均入学定員超過率」は令和元年度～令和3年度の平均値。「令和4年度入学定員超過率」には、令和3年度の定員超過率を記載。
長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻	3	5	—	15	博士(グローバルヘルス)	1.00	1.00	—	平成30	同上	秋季入学制のため、「平均入学定員超過率」は令和元年度～令和3年度の平均値。「令和4年度入学定員超過率」には、令和3年度の定員超過率を記載。

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<多文化社会学研究科 多文化社会学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和2年度】			【令和3年度】			【令和4年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	鈴木 達治郎 <令和2年4月> 工学博士 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	鈴木 達治郎 <令和2年4月> 工学博士 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	鈴木 達治郎 <令和2年4月> 工学博士 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	鈴木 達治郎 <令和2年4月> 工学博士 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	吉田 文彦 <令和2年4月> 国際公共政策博士 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	吉田 文彦 <令和2年4月> 国際公共政策博士 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	吉田 文彦 <令和2年4月> 国際公共政策博士 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	吉田 文彦 <令和2年4月> 国際公共政策博士 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
			専	教授	中村 剛弘 <令和2年4月> 社会学博士 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導						
専	教授	森川 裕二 <令和2年4月> 博士(学術) 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	森川 裕二 <令和2年4月> 博士(学術) 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	森川 裕二 <令和2年4月> 博士(学術) 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	森川 裕二 <令和2年4月> 博士(学術) 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	楊 晓安 <令和2年4月> 文学博士(中国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	楊 晓安 <令和2年4月> 文学博士(中国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	楊 晓安 <令和2年4月> 文学博士(中国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	楊 晓安 <令和2年4月> 文学博士(中国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	正本 忍 <令和2年4月> 博士(社会学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導									
専	教授	王 維 <令和2年4月> 博士(学術) 文学博士(中国) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	王 維 <令和2年4月> 博士(学術) 文学博士(中国) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	王 維 <令和2年4月> 博士(学術) 文学博士(中国) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	王 維 <令和2年4月> 博士(学術) 文学博士(中国) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	西原 俊明 <令和2年4月> 博士(言語学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	西原 俊明 <令和2年4月> 博士(言語学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	西原 俊明 <令和2年4月> 博士(言語学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	西原 俊明 <令和2年4月> 博士(言語学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	井田 洋子 <令和2年4月> 法学修士 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	井田 洋子 <令和2年4月> 法学修士 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	井田 洋子 <令和2年4月> 法学修士 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	井田 洋子 <令和2年4月> 法学修士 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	葉柳 和則 <令和2年4月> 博士(文学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	葉柳 和則 <令和2年4月> 博士(文学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	葉柳 和則 <令和2年4月> 博士(文学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導	専	教授	葉柳 和則 <令和2年4月> 博士(文学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野上 建紀 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	鈴木 章能 ＜令和2年4月＞ 博士(英文学)
		多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	前田(米澤) 桂子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	吉田 ゆり ＜令和2年4月＞ 博士(現代社会)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	首藤 明和 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	木村 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	針貝 綾 ＜令和2年4月＞ 博士(芸術学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	Guelbeyaz Abdurrahman ＜令和2年4月＞ 博士(人間科学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	細田(垂水) 尚美 ＜令和2年4月＞ 博士(地域研究)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	才津 祐美子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	大平 晃久 ＜令和2年4月＞ 博士(人間・環境学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野上 建紀 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	鈴木 章能 ＜令和2年4月＞ 博士(英文学)
		多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	前田(米澤) 桂子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	吉田 ゆり ＜令和2年4月＞ 博士(現代社会)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
兼任 講師		首藤 明和 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		多文化社会学特論Ⅰ
専	教授	木村 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	針貝 綾 ＜令和2年4月＞ 博士(芸術学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	Guelbeyaz Abdurrahman ＜令和2年4月＞ 博士(人間科学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	細田(垂水) 尚美 ＜令和2年4月＞ 博士(地域研究)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	才津 祐美子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	大平 晃久 ＜令和2年4月＞ 博士(人間・環境学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野上 建紀 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	鈴木 章能 ＜令和2年4月＞ 博士(英文学)
		多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	前田(米澤) 桂子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	吉田 ゆり ＜令和2年4月＞ 博士(現代社会)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
兼任 講師		首藤 明和 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		多文化社会学特論Ⅰ
専	教授	木村 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	針貝 綾 ＜令和2年4月＞ 博士(芸術学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	Guelbeyaz Abdurrahman ＜令和2年4月＞ 博士(人間科学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	細田(垂水) 尚美 ＜令和2年4月＞ 博士(地域研究)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	才津 祐美子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	大平 晃久 ＜令和2年4月＞ 博士(人間・環境学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野上 建紀 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	鈴木 章能 ＜令和2年4月＞ 博士(英文学)
		多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	前田(米澤) 桂子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	吉田 ゆり ＜令和2年4月＞ 博士(現代社会)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
兼任 講師		首藤 明和 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		多文化社会学特論Ⅰ
専	教授	木村 直樹 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	針貝 綾 ＜令和2年4月＞ 博士(芸術学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	Guelbeyaz Abdurrahman ＜令和2年4月＞ 博士(人間科学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	細田(垂水) 尚美 ＜令和2年4月＞ 博士(地域研究)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	才津 祐美子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	大平 晃久 ＜令和2年4月＞ 博士(人間・環境学)
		研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	波佐間 逸博 <令和2年4月> 博士(地域研究) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	賽漢卓娜 <令和2年4月> 博士(教育学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	CUTRONE PINO <令和2年4月> Ph.D. (Applied Linguistics) (英国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	東 史彦 <令和2年4月> 博士(法学) 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	滝澤 克彦 <令和2年4月> 博士(文学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	南 誠(梁 雪江) <令和2年4月> 博士(人間・環境学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	COMPEL RADOMIR <令和2年4月> 博士(国際経済法学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	中島 ゆり <令和2年4月> 博士(Ph.D., Educational Culture, Policy, and Society) (米国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	見原(吉野) 礼子 <令和2年4月> 博士(社会学) 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	吉良 史明 <令和2年4月> 博士(文学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	谷川 晋一 <令和2年4月> 博士(言語学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	波佐間 逸博 <令和2年4月> 博士(地域研究) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	賽漢卓娜 <令和2年4月> 博士(教育学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	CUTRONE PINO <令和2年4月> Ph.D. (Applied Linguistics) (英国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	東 史彦 <令和2年4月> 博士(法学) 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	教授	滝澤 克彦 <令和2年4月> 博士(文学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	南 誠(梁 雪江) <令和2年4月> 博士(人間・環境学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	COMPEL RADOMIR <令和2年4月> 博士(国際経済法学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	中島 ゆり <令和2年4月> 博士(Ph.D., Educational Culture, Policy, and Society) (米国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	見原(吉野) 礼子 <令和2年4月> 博士(社会学) 多文化社会学特論Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	吉良 史明 <令和2年4月> 博士(文学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	谷川 晋一 <令和2年4月> 博士(言語学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	波佐間 逸博 <令和2年4月> 博士(地域研究) 多文化社会学特論Ⅰ
専	准教授	賽漢卓娜 <令和2年4月> 博士(教育学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	CUTRONE PINO <令和2年4月> Ph.D. (Applied Linguistics) (英国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
兼任	講師	東 史彦 <令和2年4月> 博士(法学) 多文化社会学特論Ⅱ
専	教授	滝澤 克彦 <令和2年4月> 博士(文学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	南 誠(梁 雪江) <令和2年4月> 博士(人間・環境学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	COMPEL RADOMIR <令和2年4月> 博士(国際経済法学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	中島 ゆり <令和2年4月> 博士(Ph.D., Educational Culture, Policy, and Society) (米国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
兼任	講師	見原(吉野) 礼子 <令和2年4月> 博士(社会学) 多文化社会学特論Ⅱ
専	准教授	吉良 史明 <令和2年4月> 博士(文学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	谷川 晋一 <令和2年4月> 博士(言語学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	波佐間 逸博 <令和2年4月> 博士(地域研究) 多文化社会学特論Ⅰ
専	准教授	賽漢卓娜 <令和2年4月> 博士(教育学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	CUTRONE PINO <令和2年4月> Ph.D. (Applied Linguistics) (英国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
兼任	講師	東 史彦 <令和2年4月> 博士(法学) 多文化社会学特論Ⅱ
専	教授	滝澤 克彦 <令和2年4月> 博士(文学) 多文化社会学特論Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	南 誠(梁 雪江) <令和2年4月> 博士(人間・環境学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	COMPEL RADOMIR <令和2年4月> 博士(国際経済法学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	中島 ゆり <令和2年4月> 博士(Ph.D., Educational Culture, Policy, and Society) (米国) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
兼任	講師	見原(吉野) 礼子 <令和2年4月> 博士(社会学) 多文化社会学特論Ⅱ
専	准教授	吉良 史明 <令和2年4月> 博士(文学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導
専	准教授	谷川 晋一 <令和2年4月> 博士(言語学) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究指導

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

- ・ 正本忍教授が令和2年3月31日付け辞職。後任未定であるが、令和3年4月から専任教員採用予定で公募予定。
- ・ 首藤明和教授が令和2年3月31日付け辞職。令和2年度から兼任教員（非常勤講師）に変更。演習科目及び研究指導科目は中村則弘教授が令和2年度から担当。令和元年11月AC教員審査済み。
- ・ 才津准教授、波佐間准教授及び滝澤准教授が教授に昇任。令和元年11月AC教員審査済み。

【令和3年度】

- ・ 中村則弘教授が令和2年7月4日死亡。
- ・ 波佐間逸博教授、見原（吉野）礼子准教授及び東史彦准教授が令和3年3月31日付け辞職。令和3年度から兼任教員（非常勤講師）に変更。後任未定。

【令和4年度】

- ・ 正本忍教授（令和2年3月31日付け辞職）の後任として令和4年4月に准教授を採用。AC教員審査準備中。
- ・ 首藤明和教授（令和2年3月31日付け辞職）の後任として令和3年12月に助教を採用。若手教員を採用し、テニユア・トラック教員（有期雇用）での採用となったため、業績を積み上げて教員資格審査を予定。
- ・ 波佐間逸博教授（令和3年3月31日付け辞職）の後任として令和4年4月に准教授を採用。AC教員審査準備中。
- ・ 見原（吉野）礼子准教授（令和3年3月31日付け辞職）の後任として令和4年4月1日に助教を採用。若手教員を採用し、テニユア・トラック教員（有期雇用）での採用となったため、業績を積み上げて教員資格審査を予定。
- ・ 上記の後任補充人事とは別に在職中の准教授2名について、令和4年5月にAC教員審査申請。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済み」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
16	19	0	0	35	0	16	14	0	0	30	0
(16)	(19)	(0)	(0)	(35)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
35	0	0				30	0	0			
(35)	(0)	(0)				(30)	(0)	(0)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
16	14	0	0	30	0	16	19	0	0	35	0
[0]	[Δ5]	[-]	[-]	[Δ5]	[0]	[0]	[0]	[-]	[-]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
30	0	0				35	0	0			
[Δ5]	[-]	[-]				[0]	[-]	[-]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{30}{35} = \boxed{85.71} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{30} = \boxed{6.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	正本 忍	R2.3	必修	研究演習 I	①	R2.3.31付け他大学への転出のため就任辞退（2）						
				必修	研究演習 II	①							
				必修	研究指導	①							
2	教授	首藤 明和	R2.3	必修	多文化社会学特論 I	②	R2.3.31付け他大学への転出のため就任辞退（2）						
				必修	研究演習 I	①							
				必修	研究演習 II	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
2	人	必修	4	科目	必修	3	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	3	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	波佐間 逸博	R3.3	必修	多文化社会学特論 I	②	R3.3.31付け他大学への転出のため辞任（3）						
				必修	研究演習 I	①							
				必修	研究演習 II	①							
				必修	研究指導	①							
2	准教授	東 史彦	R3.3	必修	多文化社会学特論 II	②	R3.3.31付け他大学への転出のため辞任（3）						
				必修	研究演習 I	①							
				必修	研究演習 II	①							
3	准教授	見原（吉野）礼子	R3.3	必修	多文化社会学特論 II	②	R3.3.31付け他大学への転出のため辞任（3）						
				必修	研究演習 I	①							
				必修	研究演習 II	①							
				必修	研究指導	①							
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
3	人	必修	5	科目	必修	3	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	3	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
5	人	必修	5 科目	必修	3 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	3 科目	計	2 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{5}{35} = 14.28 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

他大学へ転出した教員の担当講義科目は、当該教員が兼任教員として担当していることから、カリキュラムに問題はなく、学生受入後の対応にも問題はないと考えている。
学生への周知については、研究科ホームページ及びパンフレットから当該教員に関する情報を削除するとともに、メール等で相談があった際に連絡することとしている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	<p>・専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。</p>	<p>指摘事項 (改善)</p> <p>教員(准教授)2名がAC教員審査を申請中(令和4年9月就任予定)である。</p>	<p>履行中</p> <p>左記のほか、本専攻の博士前期課程を担当している専任教員(准教授)2名が令和4年内にAC教員審査を受審予定(令和4年12月就任予定)である。また、その他の教員1名(准教授)についてもAC教員審査受審に向け準備中であり、設置計画の専任教員数を確保できる見込みである。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<多文化社会学研究科 多文化社会学専攻（D）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 該当なし</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 該当なし</p> <p>c 委員会の審議事項等 該当なし</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・新任教員のための研修会（全学実施分）</p> <p>b 実施方法 ・セミナー形式による実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ・検討中</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・検討中</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 ・有（「受講ふり返りの実施に関する申合せ」により実施。）各学期末に実施。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 ・長崎大学の学務情報システム（NU-Web）に掲載し、学内外へ公開。</p>

（注）・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的について、当初設定したとおりに実現しているが、今後さらに教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・次期評価期間内（2022～2028年）に受審予定（受審時期検討中）

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。